

質問通告・質問要旨一覧表

議会傍聴者用

質問順	質問議員	通告の標題・質問要旨
1	金子孝伸	<p>◎（１）部活動の地域移行による持続可能な地域スポーツコミュニティの構築について</p> <p>学校の部活動は子どもたちの心身の健全育成と人格形成に重要な役割を担ってきた一方で、環境変化に伴い国が地域移行を推進し、本町の教育大綱でもこの方針が明示されています。</p> <p>地域移行は単に部活動を学校から移すのではなく、子どもと地域の大人や高齢者が共にスポーツや文化活動を楽しみ、互いに教え合う世代間交流型コミュニティの構築に大きな意義があります。これは教育制度の変更を超えたスポーツによる地域づくりの機会であり、世代を超えて支え合う持続可能な地域コミュニティ構築に向けた町の積極的取り組みが期待されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 専任担当配置後の進捗状況 2 描く地域コミュニティの将来像 3 具体的な移行計画とスケジュール <p>について質問いたします。</p> <p>◎（２）行政事務の効率化・高度化に向けたＡＩ等の活用について</p> <p>町は「第７期鹿追町総合計画」及び「令和７年度町政執行方針」において、DX（デジタルによる、より良い生活環境への変革）やICT（デジタル通信技術）による住民サービスの利便性向上と庁内業務の効率化が重要施策として推進されています。</p> <p>しかし急速な人手不足が現実問題として直面する中、当町の行政運営への影響が危惧されます。行政の本来の役割は住民との接点を大切にし、顔を突き合わせて住民の声を聴き実現策を考えることにありますが、法的根拠に基づく算出業務、特に福祉関連の複雑な業務については、対応職員の育成や人材確保が厳しい状況です。</p> <p>解決策として生成ＡＩの活用が考えられ、RPA（デジタル技術を活用した業務自動化）も有効ですが、生成ＡＩの進歩は凄まじく行政分野での活用可能性も急速に広がっています。</p> <p>そこで正確性が極めて重要な業務や法的根拠に基づく算出業務等に対し、DXやICT、生成ＡＩといった先進技術をどう活用し、住民サービス精度向上と業務効率化を図るかお考えを伺います。</p>

質問順	質問議員	通告の標題・質問要旨
2	狩野正雄	<p>◎ 合同納骨墓について</p> <p>少子高齢化、核家族化、過疎化が進む中でお墓に対する意識の変化が生じています。お墓を継承管理する者が不在となったり、後の人に負担をかけたくないなど様々な理由により、終活として墓じまいする人もいます。</p> <p>町民からも合同納骨墓の整備を求める声があり、墓の維持管理だけでなく墓じまいや寺院への納骨ができずにいる人など、様々な状況や環境で不安を抱えている人がいます。この件については2019年3月の一般質問でも取り上げましたが、6年が経過した中で現在のニーズについて伺う。</p> <p>すでに管内では帯広市が整備されており、当町としても検討が必要な時期に来ていると考えますが、町の見解をお聞かせください。</p>
3	佐々木康人	<p>◎ 5月10日に発生した断水事故の状況と将来的な断水等リスクへの対応</p> <p>5月10日に町内の上幌内地域、幌内地域、西笹川地域において約4日間にわたる断水事故が発生しました。この断水により生活水の確保や農家地区の農業、とりわけ酪農家に大きな影響を及ぼしました。</p> <p>断水の原因と対応及び今後の対策についてお聞きします。</p> <p>また、最近では十勝沖を震源とする地震が頻繁に起き、十勝全域にわたる大規模な地震災害が懸念されます。</p> <p>2018年9月6日の胆振東部地震に伴う北海道エリアにおける日本初の大規模停電（ブラックアウト）については記憶に新しいところです。</p> <p>将来的にこうした大規模停電や断水を想定して町ではどのような対応を行っているのかお聞きします。</p>

質問順	質問議員	通告の標題・質問要旨
4	山口優子	<p>◎ 男女共同参画社会の推進について</p> <p>1 鹿追町における男女共同参画の現状と課題について、町の政策や計画において男女共同参画の視点がどのように位置づけられているのか、また具体的な取組状況と現状の課題について伺います。</p> <p>2 女性管理職比率については、鹿追町は管理職における女性比率 30%を目指していますが、一般行政職の現在の比率はそれに大きく届いていないのが現状です。この現状をどう受け止めているのか、女性職員の管理職登用を進めるために町としてどのような目標設定や人材育成を行っていくのか、町長の認識と原因分析を伺います。</p> <p>3 今後の改善に向けた取り組みについては、女性管理職の登用を進めるための育成支援や人事制度の見直しなど、具体的にどのような方針で取り組んでいくのか、制度面と意識面の両面からの今後の改善策について具体的にお聞きします。</p>